

公益財団法人 広沢技術振興財団

《研究課題名・講演会名等・調査課題名》

アルミダイカスト製品寸法精度の超高度化技術開発

《申請者》

フリガナ：カブシキガシャ キクワ
所属機関・団体：株式会社 菊和
職位・氏名：代表取締役社長 菊池英之

《研究・講演会等・調査の概要》

これまで鋳造製品は加工製品と比べ寸法精度が劣る為、鋳造後の加工とそれに伴うコストが発生した。我々は、鋳造工法の一つであるダイカストを取り上げて、加工並の寸法精度を有し、コスト競争力あるダイカスト製品を製造する技術研究を行う。

研究アプローチとしては、従来の金型設計手法、すなわちこれまでの経験値則から製品比倍率を全形状に等倍に掛けた金型による従来ダイカスト製造方法から、ダイカスト時の金型熱変形、鋳造後の製品の凝固収縮変形、製造バラツキを考慮し製品寸法バラツキを少なくするダイカスト製造方法の確立を目指すものである。

この技術を事業化することで、加工レスとなる様々なメリット（低コスト、納期短縮、加工面鋳造欠陥品質向上、エネルギー&CO2消費削減、出来上がった製品をみただけでは核となる鋳造技術を盗用されない新興国技術コピー防止）の確保をして、日本発の国際競争力ある技術研究獲得を目指す。